

ご修理のときは

お買い求めの販売店、またはホームセンターにお申し付けください。
なお、修理を依頼する販売店やホームセンターがお近くにない場合は、
弊社 WEB サイトから修理受付けを行っていますのでアクセスしてください。



<https://www.hikoki-powertools.jp/contact/repair/>

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

お客様相談センター

●フリーダイヤル (9:00 ~ 18:00)

0120-20-8822 ※携帯電話、IP 電話からもご利用いただけます。

工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号 (品川インターシティ A 棟 18 階)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99276603 401 G

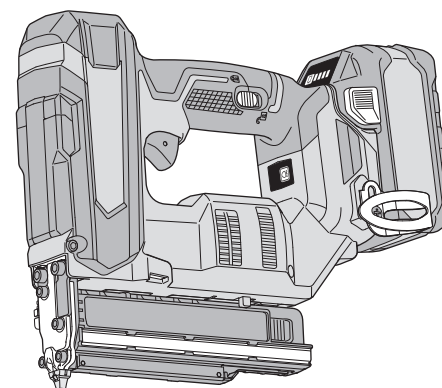
HIKOKI

取扱説明書

コードレスピン釘打機

36 V NP 3635DA

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



はじめに

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意	8
各部の名称	9
用途	10
仕様	10
標準付属品	11
別売部品	12

使い方

蓄電池の取付け・取りはずし	13
1 充電当たりの作業量について	13
六角棒スパナの収納について	14
フックの使い方	14
LED ライトの使い方	15
LED ライトの警告シグナルについて	16
ご使用前の点検・準備	17
釘の装てんと抜き取り	19
打ち込み深さの調整	21
空打ち防止機構について	22
釘の取扱い方	22
ピン釘を打つ	23
釘詰まりの直し方	25
ドライバブレードの交換	27

その他

保守・点検	29
故障診断	30
ご修理のときは	裏表紙

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用了場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

⚠警告、⚠注意、注の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - コードレス工具は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。
感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。
発火や火災の恐れがあります。
- ③ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ④ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

⚠警告

- ⑤ 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り (OFF)、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。
 - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑥ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑦ **指定の付属品や別売部品を使用してください。**
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品や別売部品を使用してください。事故やけがの原因になります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手が届かない所または鍵のかかる所に保管してください。
事故の原因になります。
 - コードレス工具を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所 (金属の箱や夏の車内など) に保管しないでください。
劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。

⚠注意

- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
- 大形のコードレス工具で行う作業には、小形のコードレス工具・別売部品を使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
- 常に足元を安定させて、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
- ⑧ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
- 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
 - 付属品や先端工具の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑨ **調整キーやスパナなどは、スイッチを入れる前に取りはずしてください。**
- 調整キーやスパナなどの工具類が、取りはずしてあることを確認してください。
付けたままでは作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑩ **油断しないで十分注意して作業をしてください。**
- コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑪ **十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。**
- 特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。
- ⑫ **アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用しないでください。**
- アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。

⚠注意

- ⑬ **損傷した部品がないか点検してください。**
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑭ **コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。**
- サービスマン以外の方は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
 - コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用したコードレス工具の保守・点検・修理は受け付けできません。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスピン釘打機について、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① 保護メガネを使用してください。
 - 作業中は保護メガネを使用してください。
 - 周りの人にも保護メガネをかけさせてください。釘を連結している接着剤や打ち損じの釘が目にあたると、けがの原因になります。
- ② 騒音から耳を保護するため、防音保護具を着用してください。
- ③ 作業環境に応じてヘルメット、安全靴、防じんマスクなどの防具を着用してください。
- ④ 蓄電池を取付ける前に、次の点検をしてください。
 - ねじがゆるんでいないこと。
 - 損傷したり、はずれている部品がないこと。
 - さび付きなどで、正常に動作しない部品がないこと。
 - プッシュレバーを引き出して上下させたとき、スムーズに動くこと。
 - 引き出したプッシュレバーが元の位置に戻ることに異常のあるまま使用すると、けがや機体の破損の原因になるので、異常のあるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- ⑤ 蓄電池を取付けるときは、次のことに注意してください。
 - プッシュレバーの先に触れたり、対象物に当たった状態にしない。
 - 射出口を人体に向けない。誤って釘を発射した場合、けがの原因になります。
- ⑥ 使用前に安全装置の点検をしてください。
 - 本製品は、射出口を打ち込み対象物に当て、さらにスイッチを引かないと、釘が発射されない構造になっています。
 - 釘を装てんする前に、蓄電池を取付け、マガジンを開いて次の点検をしてください。
 - スイッチを引いただけで、モーターが作動しないこと。
 - 異常のあるまま使用すると、けがの原因になるので、異常のあるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- ⑦ 人体に射出口を向けないでください。
- ⑧ 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
 - 高所作業のときは、釘打ち作業中に落ちることのないように十分足場の安全性を確認してください。転倒や落下など、けがの原因になります。

⚠警告

- ⑨ 射出口付近に顔や手、足などの人体を近づけて作業しないでください。
誤って釘を発射したり、跳ね返って飛んだときなど、けがの原因になります。
- ⑩ 作業する箇所に、内部配線やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
- ⑪ 使用中は、機体をしっかりと保持してください。
- ⑫ 釘を打ち込む材料の裏側に、手や体を置かないでください。
釘が突き抜けたり、材料が欠けたときなどに、けがの原因になります。
- ⑬ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
可燃性の液体やガス（シンナー、ガソリン、塗料、ガス類など）のある所で使用しないでください。
釘を打ち込むときの火花による爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。
- ⑭ 釘を打ち込むとき以外はスイッチをロックしてください。また、スイッチに指を掛けしないでください。
 - スイッチに指を掛けて、持ち運びしたり、手渡しなどをしないでください。
 - 釘を装てんするときや調整などをするときは、スイッチに指を掛けしないでください。誤って釘を発射する恐れがあり、けがの原因になります。
- ⑮ 次の場合は、スイッチをロックして、蓄電池を工具体から取りはずしてください。
 - 使用しない場合や作業中断時。
 - 点検・調整、釘詰まりの直しなどの場合。
 - 釘の装てん、または抜き取る場合。誤って釘を発射する恐れがあり、けがの原因になります。
- ⑯ 釘を打つときは、射出口を確実に対象物に当ててください。一度打った釘の上に、再度釘を打つことはしないでください。
釘が跳ね返ったり、機体が反発することもあり、けがの原因になります。
- ⑰ 作業中は周りの人に注意してください。
 - 釘を連結している接着剤やテープの破片、打ち損じた釘が当たる恐れがあります。
 - 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。機体や材料を落としたときなど、事故の原因になります。
- ⑱ 薄い板や木材の端に釘を打たないでください。
薄い板に打つと釘が突き抜けたり、木材の角に打つと釘がそれたりして、けがの原因になります。
- ⑲ 機体の反発に注意してください。
かたい所に打った場合、機体が跳ね返ることがあるため、顔を近づけないでください。
- ⑳ 壁の両側から同時に釘打ち作業をしないでください。
打った釘が突き抜けたり、壁ぎわの釘がそれたりして、けがの原因になります。

⚠ 警告

- ②① 以下の場所では、次のことに注意してください。
- 屋根などの斜面で釘を打つときは、下から上に向かって前進しながら作業してください。
後退しながら作業すると、足を踏みはずす恐れがあり、けがの原因になります。
 - 床などの水平面で釘を打つときは、前進しながら作業してください。
後退しながら作業すると、足をとられ、けがの原因になります。
 - 壁などの垂直面に釘を打つときは、上から下へ作業してください。
- ②② 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときはスイッチをロックし、蓄電池を取りはずして機体や釘などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
- 特に次の点に注意してください。
- プッシュレバーを引き出して上下させるときスムーズに動くこと。
 - 引き出したプッシュレバーが元の位置に戻ることを。
- ②③ 精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水にぬらしたりしないでください。
誤作動等をおこす原因になります。
- ②④ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
- 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。
- ②⑤ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
蓄電池を取付けた場合に短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。

⚠ 注意

- ① LED ライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。
- ② スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
- ③ 蓄電池は確実に取付けてください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記 ①、②、③ の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、蓄電池の取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を守ってください。

○ 蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証ができません。

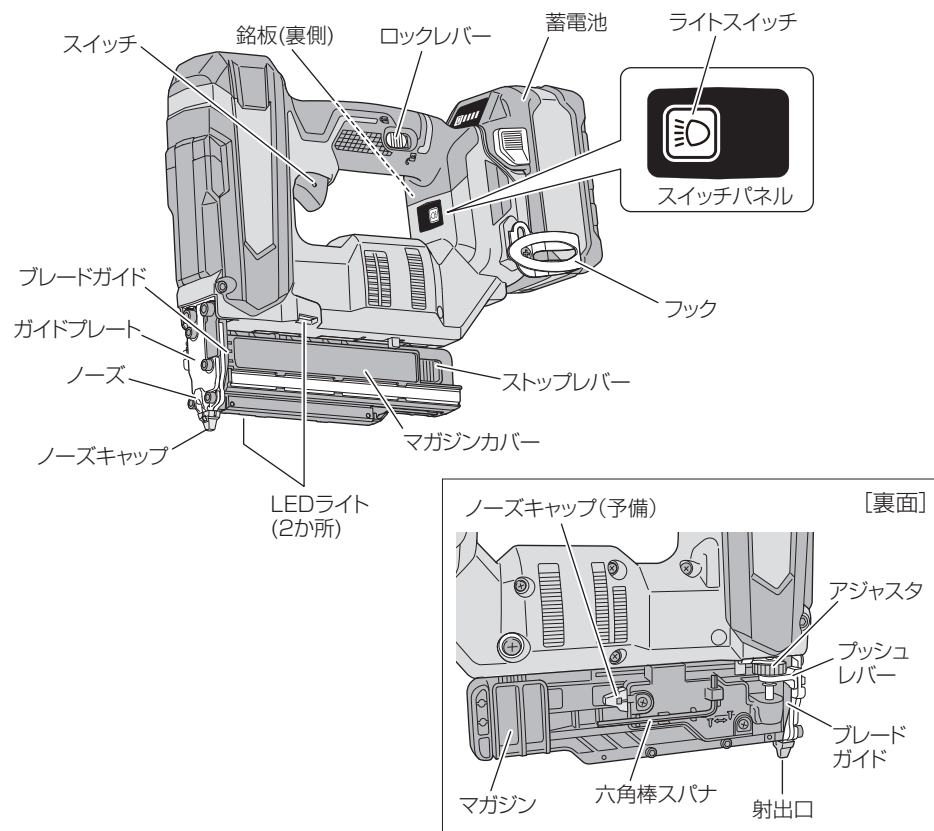
⚠ 警告マークについて



このマークのある操作・手順では、必ずスイッチをロックし、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。

蓄電池を工具本体に装着したまま準備や点検、釘の装てん、抜き取りなどをすると、予期できない作動を招いて事故やけがの原因になります。

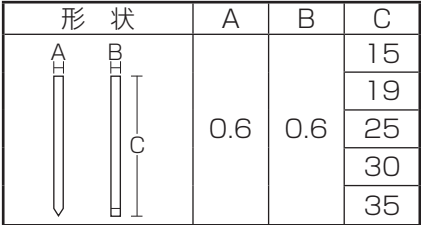
各部の名称



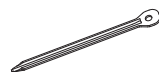
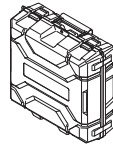
用途

● 建築内装の巾木・回り縁などの化粧合板止め

仕様

形 名	NP 3635DA			
使 用 ピ ン 釘	(寸法単位 : mm)			
	形 状	A	B	C
		0.6	0.6	15
				19
				25
				30
				35
釘 の 装 て ん 数	100 本 (1 連)			
モ ー タ ー	直流ブラシレスモーター			
電 池 電 圧	36 V			
使 用 可 能 蓄 電 池	マルチボルトタイプ蓄電池			
工 具 本 体 寸 法 (全長×高さ×センチメートル)	227 × 270 × 87 mm [BSL36A18X 装着時]			
質 量	2.3 kg [BSL36A18X 装着時]			
L E D ラ イ ト	白色 LED			

標準付属品

品 名	仕 様	XPZ	NNK
蓄電池 ●取扱い方法は、蓄電池の取扱説明書を 確認してください。		1 個 〔本体装着〕	—
充電器 ●取扱い方法は、充電器の取扱説明書を 確認してください。		1 台	—
ノーズキャップ 		2 個 〔本体装着 1、 本体収納 (予備) 1〕	2 個 〔本体装着 1、 本体収納 (予備) 1〕
六角棒スパナ 3 mm 		1 個 〔本体収納〕	1 個 〔本体収納〕
ドライバブレード (予備) 		1 個	1 個
保護メガネ 		1 個	1 個
収納ケース 		1 個	1 個
電池カバー 		1 個	—

別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

●ピン釘

本製品は、右の表に示すピン釘が使用できます。

釘は 100 本が 1 連に接着されています。

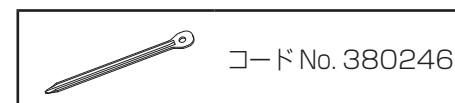
釘の頭の色は、下地材の色に合わせて使用してください。

注 釘は弊社純正ピン釘を使用してください。

純正以外のピン釘を使用すると釘詰まりや、故障の原因になります。

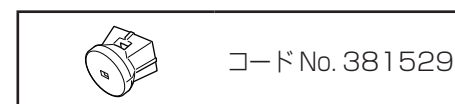
●ドライバブレード

1 本を予備としてお持ちいただくことをお勧めします。



●ノーズキャップ (B)〔平打ち用〕

杉などの柔らかい部材への平打ちに適しています。

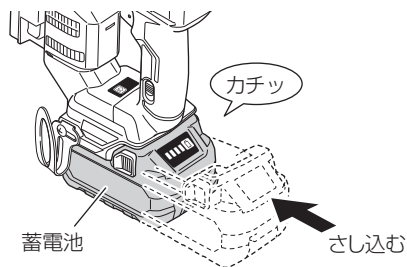


形 状	形 名	寸法 (mm)		L 寸法 (mm)	材 質	表 面
		a	b			
	P0615B	0.6	0.6	15	鉄	茶
	P0615Y					ベージュ
	P0615LB					うす茶
	P0615W					白
	P0615					無地
	P0619B			19	鉄	茶
	P0619Y					ベージュ
	P0619LB					うす茶
	P0619W					白
	P0619					無地
	P0625B			25	鉄	茶
	P0625Y					ベージュ
	P0625LB					うす茶
	P0625W					白
	P0625					無地
	P0630B			30	鉄	茶
	P0630Y					ベージュ
	P0630LB					うす茶
	P0630W					白
	P0630					無地
	P0635B			35	鉄	茶
	P0635Y					ベージュ
	P0635LB					うす茶
	P0635W					白
	P0635					無地
	P0625S			25	ステンレス	無地
	P0635S			35		

蓄電池の取付け・取りはずし

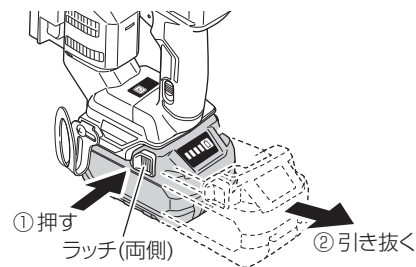
取付けるとき

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



取りはずすとき

両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



1 充電当たりの作業量について

1 充電当たりの作業量の目安を示します。
(打ち込み本数は、使用環境、蓄電池の状態などにより異なります。)

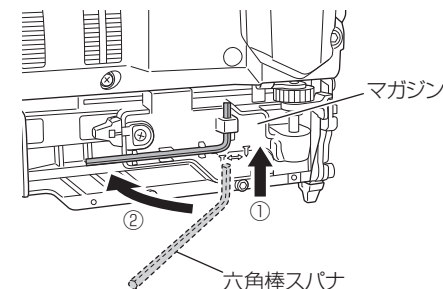
[蓄電池 BSL 36A18X 使用時]

打ち込み本数
約 8,000 本



六角棒スパナの収納について

マガジンに六角棒スパナを収納できます。
右図のように収納してください。



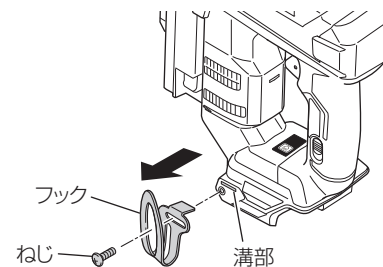
フックの使い方

左右に付け替えて使用できます。

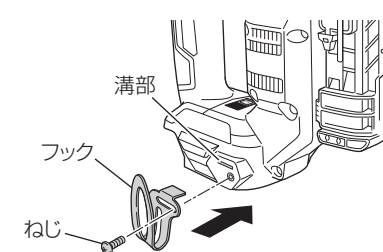
⚠ 注意

- フックを使用するときは、機体が落下しないように、しっかりと掛けてください。
- フックはしっかりと取付けてください。

プラスドライバーを使用して、ねじをはずします。



取付けのときは、逆の手順で行ってください。



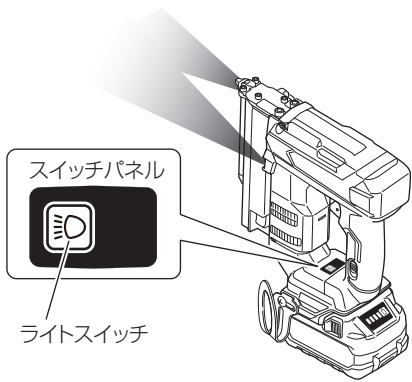
LED ライトの使い方

スイッチパネルのライトスイッチを押すたびに、LEDライトが点灯・消灯します。蓄電池の消耗防止のため、こまめに消灯してください。

LEDライトは、使用中に警告シグナルを発光する機能を併せ持っています。
詳細は P.16「LEDライトの警告シグナルについて」を参照してください。

注 ●LEDライト消し忘れによる電池の消耗を防止するため、約5分経過すると自動で消灯します。

●レンズ部に付着したごみは、柔らかい布などでふき取り、傷が付かないようにしてください。

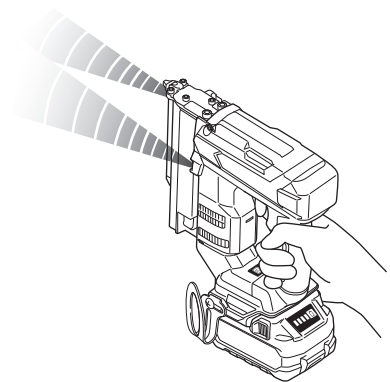


LED ライトの警告シグナルについて

本製品は、工具本体の状態を検出する機能が付いており、作業中に各検出機能が作動すると、LEDライトが以下のように点滅してお知らせします。

各検出機能が作動したときは、直ちにスイッチから指をはなし、対処方法に従ってください。

注 対処方法を実施しても改善しない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



状 態	LED ライトの表示	対処方法
電池電圧 低下状態※	0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯  (遅い点滅)	蓄電池を充電してください。
過負荷状態	0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯  (速い点滅)	蓄電池を抜き、大きな負荷となった原因 (釘詰まり、ブレードガイドおよびドライバブレード周辺のごみ) を取り除いてください。
高温状態	0.9 秒点灯 / 0.1 秒消灯  (長い点滅)	蓄電池および工具本体を十分に冷ましてください。
その他	その他の点滅	故障の可能性があります。 お買い求めの販売店にお問い合わせください。

※ 低温状態のときは、蓄電池残量があっても「電池電圧低下」を検出する場合があります。



ご使用前の点検・準備

⚠ 警告

- ねじ類がゆるんでいないことを点検してください。
- 損傷したり、はずれている部品や、さび付きなどで、正常に作動しない部品がないことを点検してください。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

● 釘の準備と安全点検

用途に合った釘を準備してください。(P.12「別売部品」参照)
P.29「保守・点検」を参照し、安全点検を必ず行ってください。

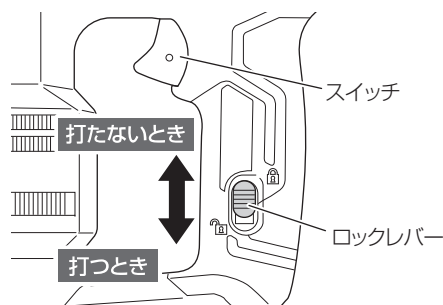
● スイッチのロック機構について

この機体には、スイッチを引けなくするロック機構が付いています。

ロックレバーを「」の位置にすると、スイッチがロックされます。

打つときはロックレバーをスライドして「」の位置にし、打たないときは「」の位置にしてください。

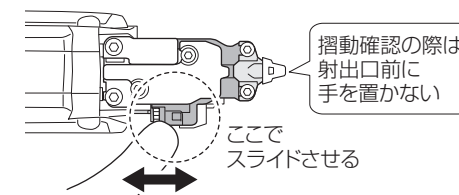
また、「」の位置でスイッチが引けないことを確認してください。



● プッシュレバーの摺動確認

プッシュレバーが、スムーズに摺動することを確認してください。

動きが悪いときは、プッシュレバーの摺動部を清掃してください。

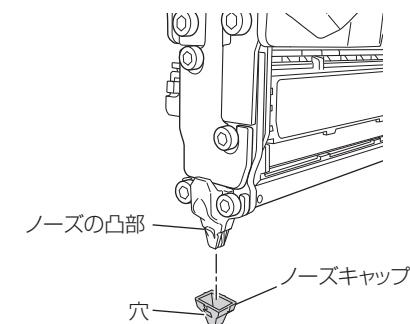


● ノーズキャップについて

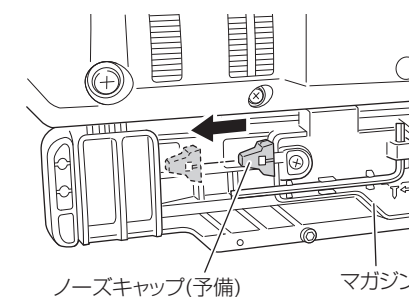
ノーズキャップを使用すると、打ち込み時、材料の表面をプッシュレバーで傷付けることを防止できます。

用途に応じて使用してください。

ノーズキャップの取付けは、穴があいている側を前方にして、プッシュレバーにさし込みます。



予備のノーズキャップは、本体側面に収納しています。破損や摩耗のときは、交換してください。



釘の装てんと抜き取り

 この作業時は必ずスイッチをロックし、蓄電池を取りはずしてください。

注 空打ち、釘詰まりなど不具合の原因になりますので、以下を守ってください。

- 釘は 10 本以上連結された物を使用してください。
この機体は、釘の残り本数が約 7 本以下になると、空打ち防止機構が作動する構造です。(P.22「空打ち防止機構について」参照)
- 長さの違う釘を同時に装てんしないでください。
- 連結本数の少ない釘を、一度に数連装てんしないでください。
釘詰まりなど、不具合の原因になります。

釘の装てん

1 ① ストップレバーを軽く押します。
② マガジンカバーを静かに引き出します。

2 ① 釘をマガジンの凹凸面に押し当て、釘の足先をマガジンの溝の奥までしっかりと入れます。
② マガジン内の釘を指でブレードガイドの中へ押し込みます。

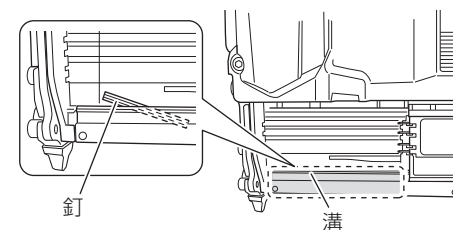
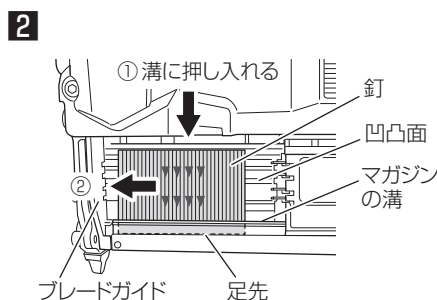
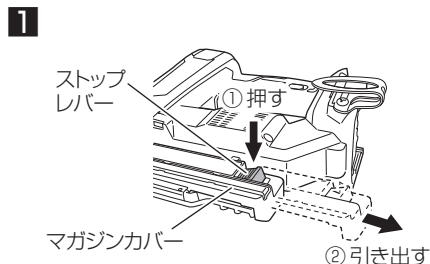
3 マガジンカバーの後部を前方に押して、釘がマガジンの凹凸面から浮き上がらないことを確認しながら、元通りに閉じます。

注 • マガジンカバーは静かに閉めてください。

強く閉めると、釘の連結が変形して、マガジンカバーが閉まらないことがあります。

• マガジンカバーが閉まりにくいときは、マガジンの溝を点検してください。

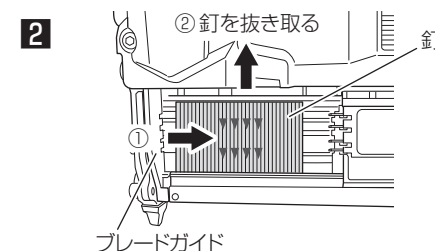
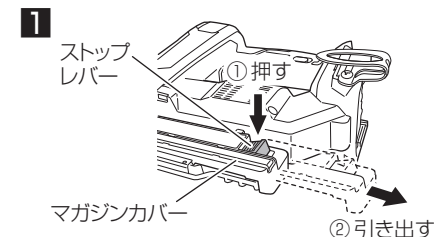
溝に釘が侵入している場合があります。釘が侵入している場合は、機体を傾けたり、精密ドライバーのような細い棒を用いて取り除いてください。



釘の抜き取り

1 ① ストップレバーを軽く押します。
② マガジンカバーを静かに引き出します。

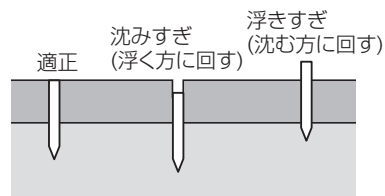
2 ① 釘をマガジンのガイド面に沿って、引き出します。
② 釘をブレードガイド、またはマガジン内から抜き取ります。



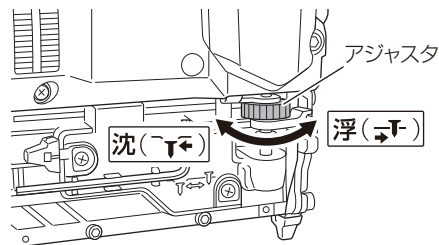
注 • ブレードガイド内で連結が切れてしまうと、手前の釘を取り除いた後に釘が残ってしまうことがあります。
• ブレードガイド内に残った釘は見えにくいので、注意して確認してください。
• 釘詰まりして釘が抜き取れないときは、P.25「釘詰まりの直し方」を参照してください。

🔧 打ち込み深さの調整

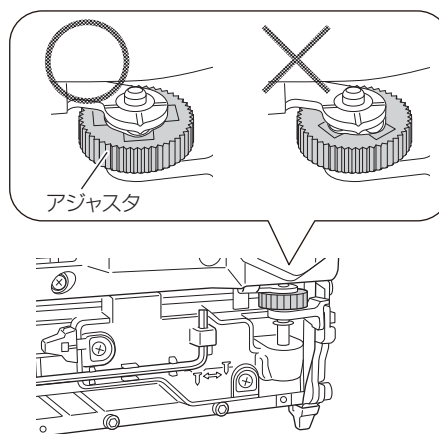
アジャスタを回すことにより、打ち込み深さを調整できます。



試し打ちし、釘が沈みすぎるときは、アジャスタを浮く方（マーク ➡↑）に回します。釘の頭が浮くときは、アジャスタを沈む方（マーク ↳↓）に回します。アジャスタは、1回転させるごとに 0.75 mm 移動します。



アジャスタを回し、凹凸部を一致させてください。
中間の位置で止めないでください。



空打ち防止機構について

この釘打機は釘がなくなった後の空打ちを防ぐため、空打ち防止機構を備えています。釘が約 7 本以下になると、機体が作動しなくなります。

また、釘を 1 連打ち終わると約 7 本の釘が残りますが、同じ長さの釘を後ろから装てんすれば、続けて釘を打つことができます。

釘の取扱い方

- 注**
- 釘は、ていねいに扱ってください。
落とすと、連結部が切れることがあり、そのままの状態で使用すると釘送り不良により、空打ち、釘詰まりなどが発生することがあります。連結部が切れた釘は使用しないでください。
 - 釘は長時間外気や直射日光にさらさないでください。
さびの発生や、連結部に不具合が生じる場合があります。釘梱包箱などに入れて保管してください。

ピン釘を打つ

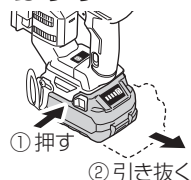
●建築内装の巾木・回り縁などの化粧合板止め

注 ●低温時に使用すると、機体の動きが悪くなることがあります。
暖かい場所に移動して工具本体、および蓄電池を少し温めて使用してください。

●フロア材や、床材止めに使用しないでください。
釘が浮いた場合など、誤ってふむなど、けがの原因になります。

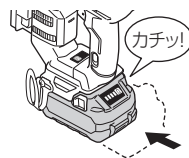
1 蓄電池を取りはずす

誤操作防止のため、蓄電池を工具本体より取りはずしてください。



4 蓄電池を取付ける

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



2 ピン釘を装てんする

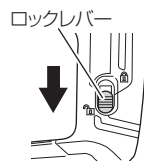
用途に合った寸法の釘を、マガジンに装てんしてください。

(P.19 **釘の装てん** 参照)



5 ロックレバーのロックを解除する

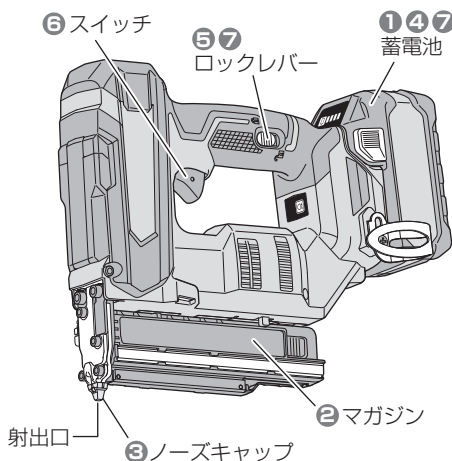
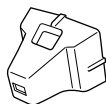
(P.17「スイッチのロック機構について」参照)



3 ノーズキャップを取付ける

用途に応じてノーズキャップを取付けます。

(P.18「ノーズキャップについて」参照)



警告

プッシュレバーを固定しないでください。
誤って釘を発射した場合、けがの原因になります。

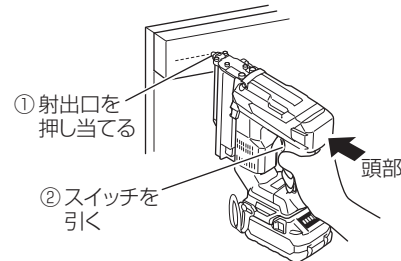
7 作業を終了する

作業後は、スイッチをロックし、蓄電池を工具本体から取りはずし、釘を全部抜き取ってください。
(P.20 **釘の抜き取り** 参照)

6 ピン釘を打つ

(安全装置について 参照)

●釘を打つ所に射出口を確実に押し当てて、スイッチを引きます。



●釘の打ち込みが不完全なときは、本機の頭部をしっかりと押さえて打ち込んでください。
●釘の打ち込み深さ調整は、P.21の「打ち込み深さの調整」を参照してください。

安全装置について

本製品は、プッシュレバーを打ち込み対象物に押し当て、スイッチを引くと釘を発射します。
逆の手順(先にスイッチを引き、プッシュレバーを押し付ける)を行っても釘は発射されません。
従って、スイッチを引いただけのとき、または、プッシュレバーを打ち込み対象物に押し当てただけでは、釘は発射しません。
これは、誤ってスイッチを引いたり、プッシュレバーを押し当てただけで釘が発射されることを防ぐためです。

注 材料のかたさ・厚さ・組み合わせによっては釘が曲がる場合や材料が割れる場合がありますので、試し打ちをしてから使用してください。

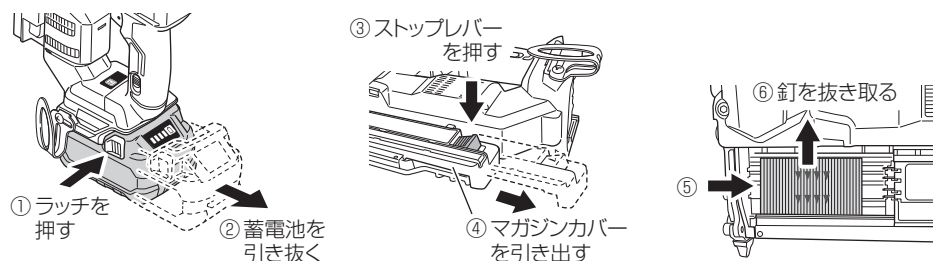
釘詰まりの直し方

 この作業時は必ずスイッチをロックし、蓄電池を取りはずしてください。

⚠注意

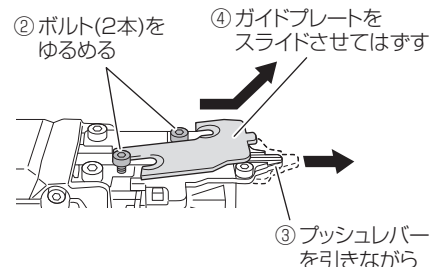
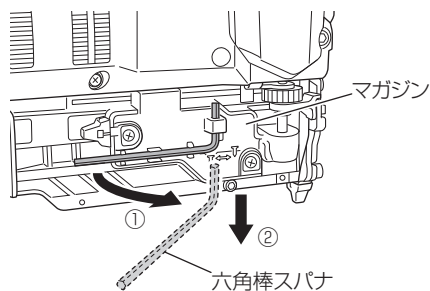
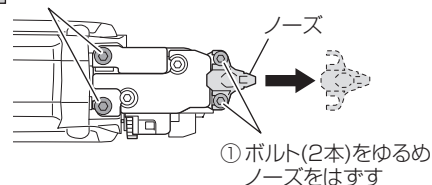
詰まった釘を取り除く際は、ペンチやマイナスドライバーなどを用いてください。
ドライバブレードが不意に動くことがあり、けがの原因になります。

- 1** マガジンに入っている釘を全部抜いてください。
(P.20 **釘の抜き取り** 参照)

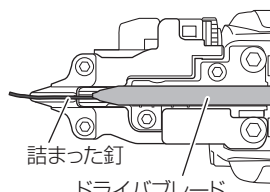
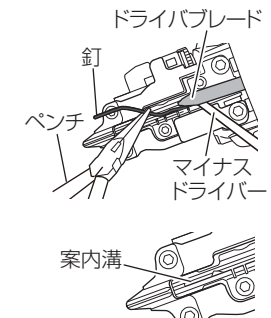


- 2** マガジン後部に収納してある六角棒スパナを使用して、ノーズとガイドプレートを取付けているボルトを少しゆるめて（一回転程度）はずします。

注 このボルト(2本)は、はずさないでください

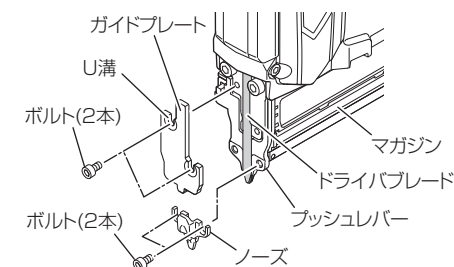


- 3** プッシュレバーやブレードガイドの案内溝に詰まった釘、接着剤、破片、木くずなどを取り除いてください。(下表参照)

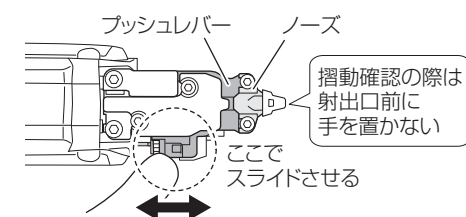
ドライバブレードの位置	詰まった釘の取り除き方
	注 ドライバブレードの下に入てはすしにくいときは、マイナスドライバーなどでドライバブレードを反らせてください。 (1) ペンチで釘を取り除く。 (2) 案内溝内に残っている釘の破片やごみを、マイナスドライバーなどで取り除く。  ドライバブレード 釘 ペンチ マイナスドライバー 案内溝

- 4** ガイドプレートとノーズを取付けます。

注 ガイドプレートおよびノーズは、U溝がボルトに突き当たるまで挿入して、ボルトを締付けてください。



- 5** 組み立て後、プッシュレバーとノーズを引き出してスムーズに上下することを確認します。





ドライバブレードの交換

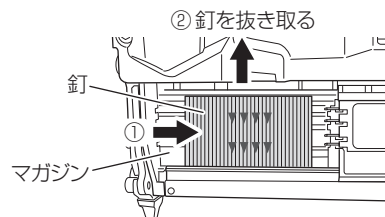


この作業時は必ずスイッチをロックし、蓄電池を取りはずしてください。

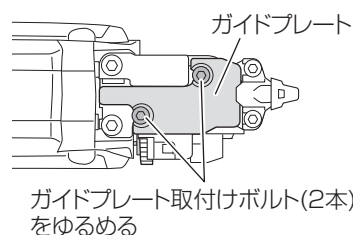
釘の打ち込み後、右図のような釘浮きや釘詰まりが多くでる(100本に2~3本)場合は、ドライバブレードの交換時期となります。

このまま使用していると、プッシュレバーやノーズなど、他の部品が破損する恐れがありますので、早めに交換してください。

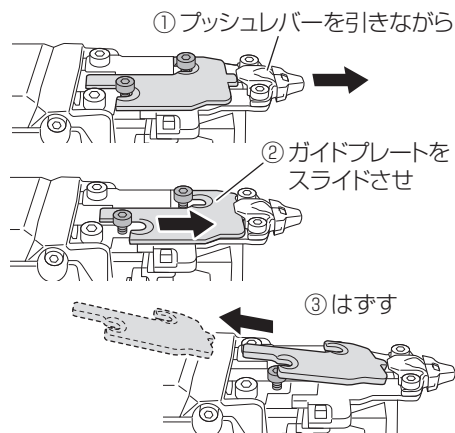
- 1 マガジンに入っている釘を全部抜いてください。
(P.20 **釘の抜き取り** 参照)



- 2 ガイドプレート取付けボルト2本を、付属の六角棒スパナでボルトがはずれない程度にゆるめます。

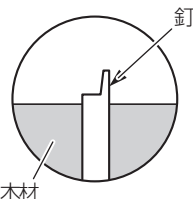


- 3 プッシュレバーを引ながら、ガイドプレートをスライドさせて取りはずします。

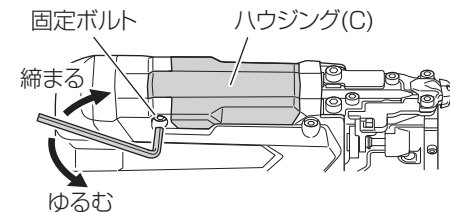


⚠ 注意

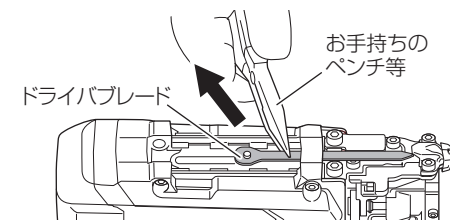
ドライバブレードを取りはずす際は、お手持ちのペンチ等を使用してください。



- 4 固定ボルトを付属の六角棒スパナではずし、ハウジング(C)を取りはずします。

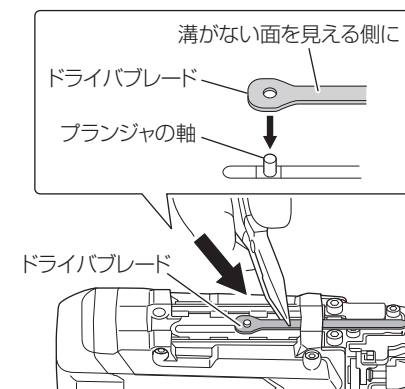


- 5 お手持ちのペンチ等を使用して、ドライバブレードを取りはずします。



- 6 向きに注意して、新しいドライバブレードを取付けます。

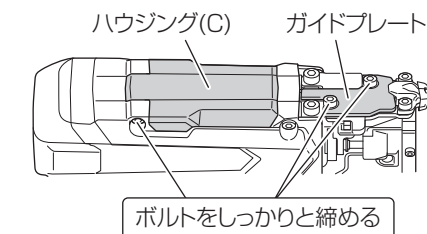
注 ドライバブレードの穴に、プランジャの軸を通して、組み付けてください。



⚠ 警告

ハウジング(C)とガイドプレートを取りはずした状態で、作動させないでください。

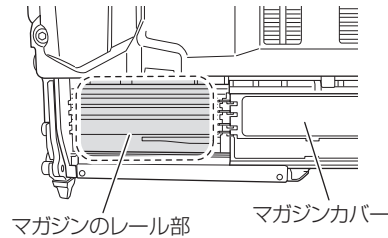
- 7 取りはずしと逆の手順で、ハウジング(C)とガイドプレートを取付けてください。



保守・点検

●マガジンの点検

マガジン内を時々掃除してください。
マガジンカバーを引き出して、レール部
中にたまった釘の接着剤、ごみ、木くず
などを取り除いてください。



マガジンのレール部 マガジンカバー

注 レール部が汚れると、釘の動きが悪くなり、空打ちが発生しやすくなります。

●機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやねじのゆるみがないか定期的に点検してください。
ねじがゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

●端子部の点検

工具本体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。
作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用し
ないでください。

●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が 50℃ 未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- 軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所
- 温度が急変する場所、直射日光が当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所

故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
また、蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組でご持参ください。

状 況	原 因	対 策
釘を打たない	蓄電池の残量が少ない	蓄電池を充電してください。
	蓄電池のさし込みが確実でない	蓄電池を引き抜いて、工具本体の電池挿入口から異物が混入していないか確認してください。また、蓄電池の端子部に汚れ等が付着していないか確認してください。蓄電池は「カチッ」と音がするまで確実にさし込んでください。
	過負荷になった	大きな負荷となった原因を取り除いてください。(釘詰まり、ブレードガイドおよびドライバブレード周辺のごみ)
	蓄電池または工具本体が過熱状態になった	蓄電池および工具本体を十分に冷ましてください。
	機体の異常	お買い求めの販売店にお問い合わせください。
釘が浮く	材料がかたい	材料のかたさによっては、打てない場合があります。
	機体が反動している	釘を打つ所に射出口をしっかりと押し当ててください。
	アジャスタの凹凸部が一致していない	凹凸部が一致する位置は4か所あります。アジャスタを回し、凹凸部を一致させてください。中間の位置で止めないでください。(P.21「打ち込み深さの調整」参照)
	ドライバブレードが摩耗している	ドライバブレードを新品と交換してください。
	ガイドプレートがズレて取付いている	ガイドプレート取付けボルト(2本)の座面に合わせて取付けてください。
空打ちする	空打ち防止機構が作動しない	お買い求めの販売店にお問い合わせください。
	詰まった釘が射出口付近に残っている	詰まった釘やごみなどを取り除いてください。
	ドライバブレードが摩耗している	ドライバブレードを新品と交換してください。
	マガジン内部にごみ等が付着している	レール部にたまったごみや異物を取り除いてください。
蓄電池が取付かない	指定以外の蓄電池を取付けようとした	蓄電池はマルチボルトタイプを使用してください。